



JSPO
Japan Sport Association

Press Release

2025 年 8 月 20 日

第 33 回 日・韓・中ジュニア交流競技会 日本選手団を中国・内モンゴル自治区へ派遣

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための環境づくりを行う JSPO(正式名称:公益財団法人日本スポーツ協会 東京都新宿区/会長 遠藤利明)は、本年 8 月 23 日から中国・内モンゴル自治区で開催される、日本・韓国・中国の高校生トップアスリートが集う標記競技会へ、日本選手団 245 名を派遣します。

■日・韓・中ジュニア交流競技会の特徴

- ◆ 東アジア諸国との青少年スポーツ交流を促進し、相互理解を深めるとともに競技力の向上を図ることを目的に開催
- ◆ 3 カ国のジュニア世代のハイレベルなアスリートが集結する総合競技会
 - ・過去の競技会には、パリ 2024 オリンピック金メダリストの北口榛花選手(陸上競技)や、銅メダリストの渡辺雄大選手・東野有紗選手(バドミントン)をはじめ、多数のオリンピックやトップアスリートが参加。
 - ・今回も、年代別の日本を代表するチームや今夏開催のインターハイで上位に入賞した国内トップレベルの選手など、未来を担うアスリートが数多く参加。
- ◆ 本競技会は、平成 5(1993)年度に開始し、今年で 33 回目
- ◆ 3 カ国持ち回りの開催で、中国での開催は平成 31/令和元(2019)年度の開催以来、6 年ぶり
※新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2(2020)～令和 4(2022)年度は開催中止

■第 32 回大会(令和 6/2024 年)の様子



競技の様子(バレーボール)



フレンドシップ交流(レクリエーション)

■第33回大会の概要(詳細は添付資料をご確認ください)

期日	令和7(2025)年8月23日(土)～29日(金) 7日間		
開催地	中国・内モンゴル自治区		
参加資格	中央競技団体が推薦する各国の国籍を有する18歳以下の高校生		
選手団人数 (予定)	(1)日本選手団 245名 (3)中国選手団 247名	(2)韓国選手団 247名 (4)内モンゴル自治区選手団 247名	
競技 (11競技)	陸上競技、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、 ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、バドミントン、 ラグビーフットボール		
添付資料	開催概要、全体日程、競技日程、日本選手団名簿		

※日本選手団2名辞退

■大会の詳細については下記もご覧ください

◎日・韓・中ジュニア交流競技会の概要(JSPO HP内)

<https://www.japan-sports.or.jp/international/tabid548.html>

※大会期間中の結果についても、上記ページ内に随時掲載予定です。

◆JSPO(公益財団法人日本スポーツ協会)について

JSPOは、1911年7月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018年4月1日、現在の名称となりました。

JSPOでは、国民スポーツ大会(旧 国民体育大会)や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「みる」「ささえる」ための幅広い事業を展開しています。また、わが国スポーツの統一組織として、国や60を超える競技団体、47都道府県スポーツ協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

▶ ホームページ <https://www.japan-sports.or.jp/>

▶ 事業概要パンフレット

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid57.html#09> (通読約15分)

▶ JSPO 中期計画2023-2027

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid149.html#01>

 **JSPO** スポーツと、望む未来へ。
Japan Sport Association

We support sport in Japan

JSPO OFFICIAL PARTNER



日本文化出版

時事通信

